

市民講座開催のお知らせ

講演『日本人と上海』 講師：肖 冬

開催日：2012年3月24日（土）

会場：アイスクエア5F 大会議室

会費：500円（資料代として）

九州では、現在「上海」ブームが起きています。昨年11月3日、長崎市と上海市を結ぶ国際航路が13年振りに復活。今年1月18日、佐賀と上海を結ぶ定期航空便が就航しました。しかし、上海は昔から日本と深い関わりがある所です。日中友好協会では、2010年1月、幕末鎖国下で、最初に上海に渡った無名の女性について、「海を越えた艶ごと」との演題で、日中文化交流セミナーを開催し、大好評を頂きました。（詳細は日中友好協会 HP<saganichu.com>を参照。

さて今回は、高杉晋作、永井荷風、芥川龍之介、松村松風、谷崎潤一郎など、多数の日本近代知識人の「上海もの」を中心に上海像を辿ってみます。講師は、佐賀大学大学院の「肖冬元」氏です。中国に関する近代日本文学を研究され深い造詣をお持ちです。我々日本人とは異なる、中国留学生から見た新しい切り口の文学史観に、どのような講演なのかと期待しています。



中国語講座講義中の肖冬元氏

※芥川龍之介と上海

芥川龍之介が上海に来たのは、谷崎潤一郎よりも5年早い1921年（大正十年）のことで、この年三月下旬から七月上旬まで、上海を振りだしに南京、漢口、洛陽、北京、天津歴訪した。その中で、上海での日々は同じこの年の八月十七日から九月十二日までの二十一回にわたり、「上海遊記」の題名で大阪毎日新聞、東京日日新聞に連載された。



2012年1月18日（水）、
佐賀有明空港～上海浦東
空港間の定期便が就航！
（写真：春秋航空）



近代的高層ビルが林立する上海市内。上海から西へ1時間程郊外を車で走らせると、昔と変わらぬ運河に囲まれた、のどかな“中国的”情緒豊かな情景の水郷古「朱家角」（ジュージャージャオ）の風景を満喫することができます。



<お問い合わせ先> 佐賀県日中友好協会

所在地：〒849-0926 佐賀市若宮2丁目14番1号ホワイトピア若宮103

TEL&FAX：0952-33-1200 E-mail：saganichu@rapid.ocn.ne.jp